

CSP-HOR の新しい取り組み —脱毛とQOL—

Department of Breast Surgical Oncology
St Luke's International Hospital
Hiroshi Yagata



化学療法を受けた患者の苦痛

順位	1983年 ¹⁾	1993年 ²⁾
1.	嘔吐	脱毛
2.	悪心	悪心
3.	脱毛	全身倦怠感
4.	治療への不安	治療への不安
5.	治療時間の長さ	うつ状態
6.	注射の不快感	家族への影響
7.	呼吸促進	不安感
8.	全身倦怠感	家事・仕事への影響
9.	睡眠障害	嘔吐
10.	家族への影響	多尿

1)Coates A. Eur J Cancer, 1983
2)Griffin AM. Ann Oncol, 1996

脱毛の何が問題か

アイデンティティー(女性らしさ)の喪失
他人から見える副作用



精神的ダメージ
社会環境への影響
職場, 近所など

頭髪の脱毛

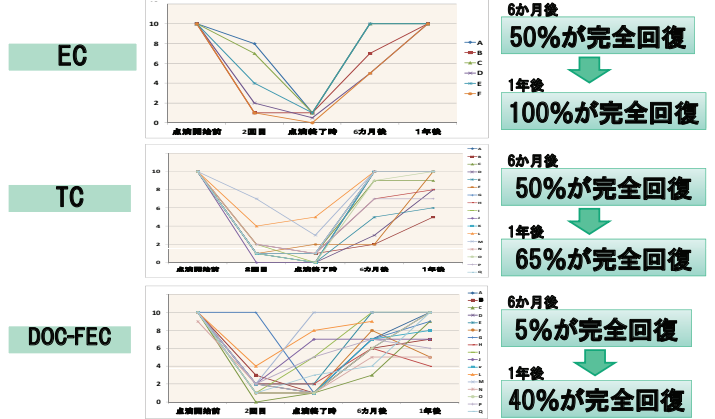


乳がん化学療法による 脱毛からの回復状態と毛髪の変化についての実態調査 -続報-

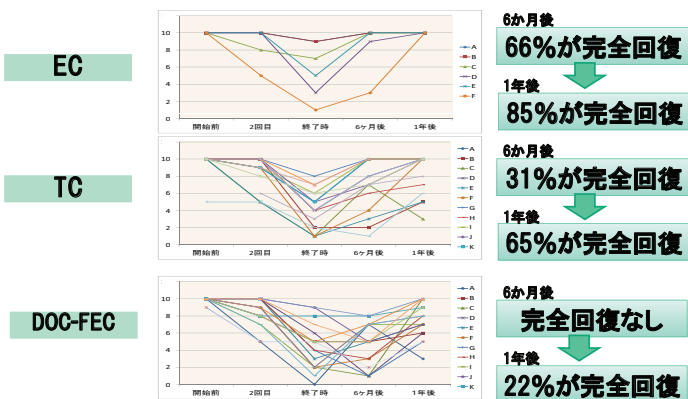


1 聖路加国際病院 看護部 2 乳腺外科
金井久子¹ 矢形 寛² 小田ちひろ¹ 出口雅紀¹
関 令子¹ 黒柳貴子¹ 玉橋容子¹ 山内英子²

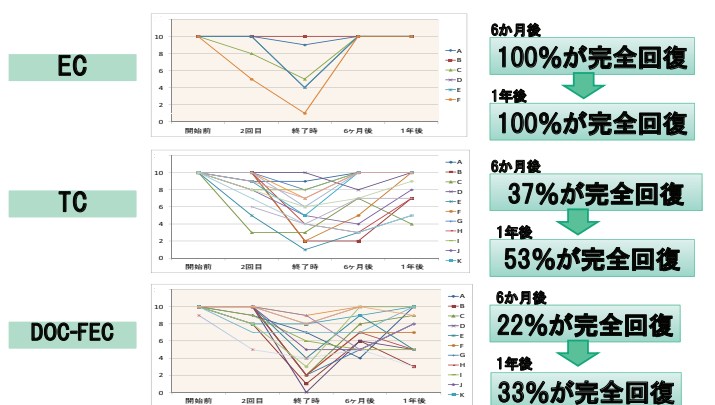
化療終了1年後の頭髪量の変化



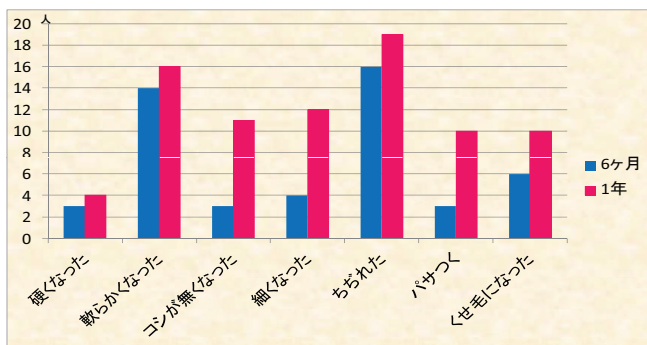
化療終了1年後のまゆげの量の変化



化療終了1年後のまつげの量の変化

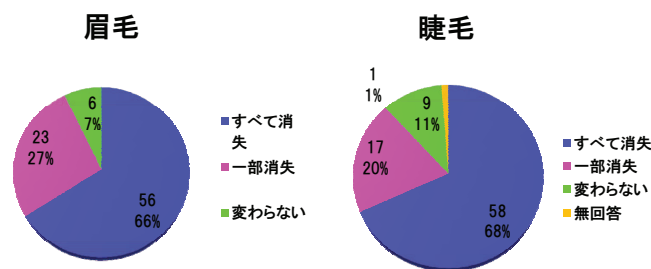


髪質の変化



眉毛、睫毛について (FEC100 n=85)

仙台医療センター



アートメイク 38名(44.7%)が施行していた

仙台医療センター脱毛対策チーム

仙台医療センター

2005.7～

- ・美容師(化療経験者)
- ・メイクアーティスト
- ・美容専門学校講師
- ・化療専門ナース
- ・医師

<目的>

日常生活を送る上で必要な対策法の情報提供と支援
化療前に対策を終了し、安心して化療開始
極力、他人に気づかれないように！

脱毛対策講習会

仙台医療センター

- ・月に一回開催(1.5時間)
- <対象> 化療予定患者など
- <内容>
 - ・副作用に関する話(薬剤師)
 - ・かつら(化療経験美容師、かつら業者)
 - ・メイクの基本
(日光過敏症対策含む皮膚の手入れ法)
 - ・まゆ毛の描き方、MP紹介
 - ・まつげ(つけまつげ対策)
 - ・爪(マニキュアなど)



脱毛対策 -海外では-

■LOOK GOOD...FEEL BETTER

1989年から米国で開始。世界18カ国(アジアではシンガポールのみ)。
全米対がん協会、全米化粧品工業会、全米コスメロジー協会が協力してプログラム運営。多くのボランティアが協力。
病院の一室を借りて2時間で化粧、かつらなど美容指導。3万円相当の化粧品ボックスが配られる。脱毛後の患者が参加？

■フランス:エステティシャンが病院で働いている

1. 個人ボランティアのエステティシャン
2. 施設職員のエステティシャン
3. 看護師の仕事として美容ケアをしている
4. ボランティア団体から派遣されるエステティシャン

化療に伴う脱毛対策ワーキンググループ

2011年11月～

- | | |
|-------|---------------------|
| 渡邊隆紀 | 国立病院機構仙台医療センター 乳腺外科 |
| 下妻晃二郎 | 立命館大学 生命科学部生命医科学科 |
| 齋藤光江 | 順天堂大学医学部付属順天堂医院 乳腺科 |
| 矢形寛 | 聖路加国際病院 乳腺外科 |
| 高山智子 | 国立がんセンター がん対策情報センター |

ワーキンググループ会議

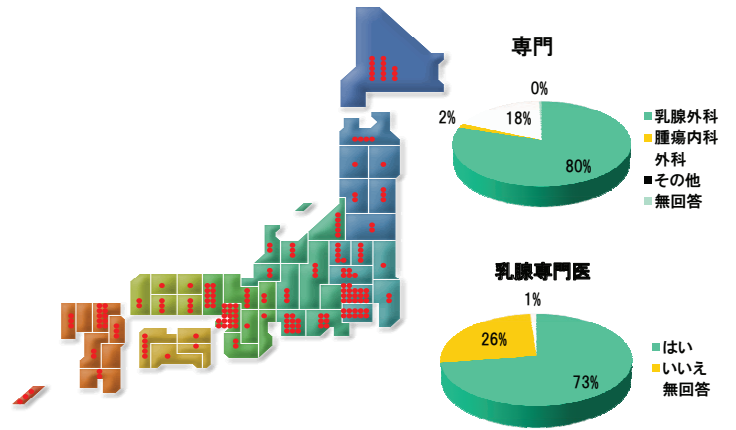
脱毛に関する勉強会

- 各病院での取り組み(仙台/順天堂/聖路加)
- 皮膚科の立場から
- 薬剤師の立場から
- ソシオエステティシャンの紹介
- VOL-NEXT(患者サービス事業会社)における活動の紹介

アンケート調査 医療施設

→ 実態およびニーズを把握する

乳癌化学療法に伴う脱毛患者サポートに関するアンケート調査



ワーキンググループ会議の今後

アンケート調査 患者向け（作成中）

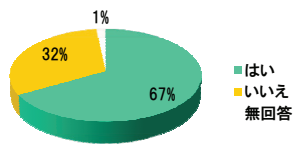
システマティックレビュー（検討中）



患者・医療スタッフ用教育用教材の作成

多施設研究

がん診療連携拠点病院



外来化学療法室がありますか

